

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 3 回 CCC 体育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時： 平成 21 年 9 月 28 日(月)午後 4 時 30 分～6 時 30 分

II. 場 所： 私情協事務局会議室

III. 出席者： 鈴木委員（ネット参加）、手塚委員、田附委員
事務局： 井端事務局長、森下主幹、山野上

IV. 検討事項：

1. コアカリキュラムのイメージについて

コアカリキュラムのイメージ検討に先立ち、到達目標 3 のコミュニケーション、リーダーシップの向上について、大きな目標としては同じ方向性と言えることから到達目標 2 と統合した。したがって、次の三つの到達目標となった。

1. 身体運動を通して、健康の維持増進の重要性を学術的に理解できる
2. 身体運動の効果を体感することにより、心身ともに充実したライフスタイルを送ることができる
3. スポーツ競技に関する知識・技能を習得し、スポーツの振興・普及に活用できる

次にコアカリキュラムのイメージについて、検討したところ次のような意見があった。

- ・ 到達目標 1 について、学術的に健康維持増進を理解するために、スポーツ科学概論、健康科学概論、運動生理学、スポーツ測定評価を含めてはどうか。
- ・ 到達目標 2 について、メンタルトレーニングをいれてはどうかという意見があったが、メンタルトレーニングは競技のパフォーマンスをあげるものという印象が強いため、スポーツ心理学という表現がよいのではないか。また、スポーツを行うことでコミュニケーション向上が期待されることから、「スポーツとコミュニケーション」を含めてはどうか。
- ・ 到達目標 3 について、コーチングに関する内容を取り入れたい。また、地域社会の活性化のため、競技スポーツがあるという視点から、スポーツ政策やスポーツ社会学などが含まれるのではないか。

以上の意見を反映して、コアカリキュラムのイメージを確定した。

2. 到達度の測定方法について

到達度の測定評価を検討するに当たり、社会に出て活用できる力を得たかどうかという視点で検討することを共通理解とした。その後、内容について検討したところ、次のような結論となった。

- ・ 到達目標 1 については、知識の理解と活用に主眼が置かれるため、試験またはレポートにより測定する。
- 到達目標 2 については、学習記録を用いて、知識の理解度、活用力を検証することとし、試験またはレポート、グループディスカッション、卒業研究などで測定する。
- ・ 到達目標 3 については、知識・技能・態度の習得を検証するため、試験またはレポート、グループディスカッション、卒業研究などで測定する。

3. 今後の予定について

今回策定した学士力案を、サイバーFD 研究委員に意見伺いした上で、次回委員会で内容の修正を行うこととなった。なお、次回委員会は、10 月 29 日(木)午後 6 時から、早稲田大学所沢キャンパス会議室で開催することとなった。